

## 能登半島地震から半年を迎えて

丸亀市議会6月定例会では、条例議案のほか、国の定額減税を含む「生活支援緊急給付金事業」や「耐震改修促進事業」など、総額12億9,303万3,000円を増額する補正予算案について、ご審議いただき、全て可決されました。市民の皆様が安心安全な生活を守るため、必要な施策を引き続き行ってまいります。

さて、今年もはや半年を迎えようとしています。元日に発生した能登半島地震の爪あとは深く、被災地の住民は今もなお不自由な生活を強いられています。親善都市である七尾市もまた大きな被害を受け、本市はこれまでに延べ128人の職員を派遣し、七尾市の復興に向けた支援活動を行ってまいりました。6月末をもって職員の派遣は一旦終了しますが、引き続き支援を継続するとともに、大きな犠牲の上に得られた教訓を風化させることなく、今後の防災や災害発生時の活動に生かしてまいりたいと考えております。

市民の皆様には寄附金や温かいメッセージを賜りましたこと、改めて感謝申し上げます。皆様の想いが、被災地の一日も早い復興につながることを祈念いたします。

気象庁によりますと、今年の夏も猛暑が予想されており、これまでの「熱中症警戒アラート」より一段上の警戒を呼び掛ける「熱中症特別警戒アラート」の運用も始まりました。今後、熱中症による健康被害のおそれが高まっています。こまめな水分補給やエアコンを上手に活用するなど、熱中症から身を守ることを心掛けましょう。

令和6年6月26日

丸亀市長 松永 恭二